

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|----------|------------------------|
| 教育活動名 | 教育心理学特殊実験におけるグループの課題設定 |
| 実施主体 | 分担担当教員としての中島義実 |
| 受講者・参加者数 | 5名 |

【活動内容】

教育心理学特殊実験は、教育心理学選修に設けられたコース必修の2単位の実験であり、授業自体の目的は、実験心理学の手法の会得にある。

学生は、分担担当教員の指導のもと、4から6人ほどの4から5グループに分かれて、教員から与えられたテーマにしたがって、自分たちで研究計画を立案、データの収集と仮説検証、及び考察を行う。

当該授業において当方は、2007年度においては「いじめ傍観者を『加害者』とみなす度合に関する研究ーいじめ経験と教師特有のビリーフが及ぼす影響」、2010年度においては「学級内に見られる『階級的現象』に関する研究」、との題目の調査研究の指導を行った。

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|----------|-----------------|
| 教育活動名 | 教員免許状更新講習（選択講習） |
| 実施主体 | 文部科学省 |
| 受講者・参加者数 | 60名 |

【活動内容】

「いじめのない学級づくりを考える」を開講

日時：平成24年8月5日

場所：福岡教育大学 共通講義棟 特I教室

講師：黒川 雅幸

本講習では、いじめに関する研究の最新知見を学習し、いじめのない学級をつくっていくために必要なことを理解することが目標である。いじめの諸理論では、いじめの定義、実態、動機、メカニズム、タイプ、近年見られるようになった電子いじめなどを扱う。また、いじめに直接結びつく友人関係についても講義する。講習の終盤では、いじめを防ぐための教育活動について扱う。

スケジュール

オリエンテーション

いじめに関する諸理論1（講義）

いじめに関する諸理論2（講義）

昼休み

友人関係といじめ（講義）

いじめを防ぐための教育活動（講義）

履修認定試験

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|---|-------------------|
| 教育活動名 | 平成 24 年度教員免許状更新講習 |
| 実施主体 | 教育支援課 |
| 受講者・参加者数 | 140 名 |
| 【活動内容】 教員免許状更新講習 日時： 平成 24 年 7 月 1 日、平成 24 年 9 月 9 日 場所： 共通講義棟 特 I 教室 講師： 宮田 正和（健康科学センター教員） 内容： 「教師のメンタルヘルスと子どもの心の理解」いじめ問題を含む | |

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|--|--|
| 活動名 | 福岡県教育委員会 福岡県教育職員免許法認定講習「教育相談」講師 |
| 対象者 | 教育職員免許法第二種教育免許状保持者 |
| 実施期間 | 平成 17 年度 8 月 9 日～11 日、平成 20 年度 8 月 19 日～21 日 |
| 活動場所 | 福岡教育大学、久留米大学 |
| 教員名（専門分野） 関係者等 | 中島 義実（臨床心理学） |
| 参加者数 | 約 100 名 |
| 活動の目的 | 参加者の、第一種免許状取得のための一単位 |
| 成果 | いじめに関する認識と対応の初歩を学んだ |
| <p>【活動内容】</p> <p>いわゆる「認定講習」の授業であるが、講義内容には必ず、いじめに関する、初期の理解と対応、後手に回った時の理解と対応とを含めるようにした。</p> | |

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|-------------------|--|
| 活動名 | 教員免許状更新選択講習 現代の親子関係の心理学的理解 講師 |
| 対象者 | 教員免許状を有するもの |
| 実施期間 | 平成 21 年度 7 月 31 日、平成 22 年度 7 月 30 日、平成 23 年度 7 月 31 日、平成 23 年度 11 月 13 日 |
| 活動場所 | 福岡教育大学 |
| 教員名（専門分野） 関係者等 | 中島 義実（臨床心理学） |
| 参加者数 | 平均約 120 名 |
| 活動の目的 | 教員免許状更新のための講習 |
| 成果 | いじめを行う心のメカニズムの知識を教師たちが身につけた |

【活動内容】

教員免許状更新講習の選択講習である。

精神分析的発達理論、特に、マラーの「分離・個体化」理論から、つい、いじめに走ってしまいたくなる心性が、我々の中にどのように巣食うのか、そのメカニズムを講義し、理解と対応の手がかりを示した。

また、「子どものけんかに親が出る」という現代の家族状況が、子どもたちの人間関係を複雑にしている現状を指摘したうえで、その現象を説明する理論として、コフートの「自己対象理論」を紹介し、個別ケースへの理解や対応の仕方を考える課題を課している。

このことで教師の実践力向上につながる講習となっている。

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（福岡教育大学・教育学部）

| | |
|--|--|
| 活動名 | 免許状更新講習「児童生徒の人間関係能力の育成」 |
| 対象者 | 小学校・中学校・高等学校教諭，養護教諭 |
| 実施期間 | 平成 24 年 6 月 16 日（6 時間） 平成 24 年 10 月 20 日（6 時間） |
| 活動場所 | 福岡教育大学 |
| 教員名（専門分野） 関係者等 | 小泉令三（学校心理学） |
| 参加者数 | 平成 24 年 6 月 16 日 平成 24 年 10 月 20 日 |
| 活動の目的 | 児童生徒の学校適応の基礎となる人間関係能力を育成するために、「社会性と情動の学習(SEL)」に関する理論と導入・実践方法について講習を行った。その中でいじめ問題の予防への取組を取り上げた。 |
| 成果 | 受講者は、いじめ問題を含めた学校不適応を予防し、学校の教育目標を達成するための具体的な取組について、指導計画案を作成した。 |
| <p>【活動内容】</p> <p>講習内容は、次の通りであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)児童生徒の人間関係の実態 (2)「社会性と情動の学習(SEL)」の理論 (3)「社会性と情動の学習(SEL-8S)」の国内の実践例紹介 (4)望ましい人間関係を育成するための指導方法 (5)学級および学校での取組の推進方法 <p>以上の内容について演習等を交えた講習を行い、試験として「児童生徒（子ども）の人間関係能力育成に関する今後の指導計画」をまとめさせた。</p> | |

I-② いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム以外の教育活動）

（鹿児島大学・教育学部）

| | |
|----------|-----------|
| 教育活動名 | いじめに関する講話 |
| 実施主体 | 鹿児島大学理学部 |
| 受講者・参加者数 | 50 名 |

【活動内容】

今年度 1 回のみ行ったもので、理学部長から依頼されて、地球環境科学科 1 年生 50 名を対象に、いじめに関する講話を行った。講話タイトルは、「友人や仲間との関わり方とその理解」で、友人関係が他の関係（親子関係や教師－生徒関係）と異なる部分についての解説、いじめの定義、いじめといじりの違い、いじめが人権侵害であることなどを説明した。